

令和 7 年度 県立中央高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・重点目標をもとに各部署での具体的目標と具体的方策が作られていること、逆に各項目の評価を積み重ねたものが「達成状況」であることを読み取ることができた。 ・学校の現状を分析し、生徒育成のための目標となっている。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	A 妥当である ☒ B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・教科によって「具体的方策」の具体性の記述にバラツキがみられ、何をどこまでどのように実施したら「a」なのか、あるいは「b」なのかを読み取れるとよい。 ・具体的方策が現実的であり、教員と生徒の取り組み内容がわかりやすい。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	A 十分把握している ☒ B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	・きちんと課題を把握されている。さらに目標を達成できるよう期待している。 ・評価から課題を明確にしている。数値的な分析ができるともっとわかりやすくなるのではないかな。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	A 適切である ☒ B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	「授業改善の推進チーム」を設置し、各教科等で授業評価アンケートを取り入れていることは高く評価できるが、そこで得られたデータを次の具体的目標にどのように反映しているのかを資料から読み取れるとよい。 ・生徒の意見を取り入れた制服の検討・改善はよいことである。
5. その他、全体的な評価	☒ A 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	・生徒たちと向き合い進路選択につなげている様子がうかがえる。また、ICT教育への対応に苦慮されながらも生徒の学力向上に取り組んでいるが、その分、働き方改革には課題が残ることも理解することができた。 ・生徒が評価に加わるのはどうか。・しっかりと生徒を見ていると感じられた。 ・地域の一住民として中央高校に期待しています。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。